

一般財団法人日本花普及センター
令和6年度 事業報告及び決算について

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月 31日

一般財団法人日本花普及センター 令和6年度 事業報告

I 法人の概況

1. 設立年月日

平成 3年 3月 25日 財団法人日本花普及センターの設立登記
平成25年10月 1日 一般財団法人日本花普及センターへ移行登記

2. 定款に定める目的

本財団法人は、花と緑の普及に関する全国的な啓発活動、総合的な調査研究、国際交流等の業務を行うことにより、花と緑の普及による国土緑化を推進し、もって潤いのある豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 花と緑の普及に関する活動の実施及び支援
- (2) 花と緑の普及を図るための講習会、シンポジウム、交流会等の開催
- (3) 花と緑の普及を図るための指導者等人材の育成及び情報の提供
- (4) 花と緑に関する基礎的資料の整備及び総合的な調査研究並びに花き産業に関する総合的な調査研究
- (5) 我が国の花と緑に関する園芸技術・文化の紹介等を通じた国際交流の推進
- (6) その他この法人の目的達成に必要な事業

4. 所管官庁に関する事項 内閣府

5. 賛助会員の状況

区 分	令和7年3月	備考
A会員（1口10万円 都道府県、団体、企業等）	34	
B会員（1口5万円 団体、企業等）	12	
C会員（1口3万円 市町村、団体、企業等）	18	
個人（1口1万円）	15	
合 計	79	

6. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区東日本橋3丁目6番17号 山一ビル4階

7. 役員等に関する事項

令和6年度の役員、評議員は、令和5年度と変更ありません。

(一財)日本花普及センター

役員(理事及び監事)

令和6年6月28日現在

氏名	役職	所属先	役職
小栗 邦夫	代表理事 (会長)	公益財団法人日本特産農作物種苗協会	理事長
岡本 正夫	代表理事 (副会長)	一般社団法人日本花き生産協会	顧問
月山 光夫	専務理事 (業務執行理事)	一般財団法人日本花普及センター	事務局長
青島 英俊	理事	一般社団法人JFTD	事務局長
上田 奈美	理事	一般社団法人日本ハンキングバスケット協会	理事長
腰岡 政二	理事	公益財団法人日本植物調節剤研究協会	理事
金野 俊和	理事	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	参与
穴倉 孝行	理事	一般社団法人日本植木協会	顧問
柴田 道夫	理事	東京大学(農学生命科学研究科)	名誉教授
福田 豊治	理事	一般社団法人日本種苗協会	専務理事
福永 哲也	理事	一般社団法人日本花き卸売市場協会	会長
和田 新也	理事	一般社団法人日本造園建設業協会	会長
渡辺 均	理事	千葉大学 環境健康フィールド科学センター	教授
東方 久男	監事	東方公認会計士事務所	公認会計士 税理士
前田 安正	監事	一般社団法人日本花き卸売市場協会	元常務理事

(一財) 日本花普及センター
評 議 員

令和6年6月28日現在

氏名	役職	所属先	役職
上田 善弘	評議員	福山市市長公室 ぎふワールド・ローズガーデン	世界ハ`ラ会議推進プロジェクトマネージャー 理事
大林 修一	評議員	一般社団法人日本インドア・グリーン協会	理事長
片山 博昭	評議員	公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会	専務理事
木本 孝行	評議員	一般社団法人全国花卸協会	会長
小林 徹	評議員	一般社団法人日本生花商協会	副理事長
須磨 佳津江	評議員	キャスター	
土井 元章	評議員	京都大学	名誉教授
冨田 祐次	評議員	一般財団法人日本造園修景協会	顧問
榑野 良明	評議員	公益財団法人都市緑化機構	専務理事
羽田 光一	評議員	公益社団法人日本家庭園芸普及協会	顧問
菱沼 義久	評議員	公益財団法人中央果実協会	副理事長
森島 茂男	評議員	公益財団法人日本花の会	常務理事 兼事務局長

II 事業の状況

1. 事業の概要

今年度は、定款に基づき、花と緑の普及による国土緑化を推進し、もって花と緑による潤いのある豊かな社会の実現に寄与するため、花と緑の普及に関する全国的な啓発活動を実施するとともに、花と緑に関する総合的な調査研究、国際交流等を実施した。

なお、花と緑の関係団体等と連携を図りつつ実施体制を確保するとともに、効果的に事業を実施した。

2. 花と緑の普及による国土緑化の推進事業の内容

(1) 花と緑の普及啓発関係

イ 花育活動の支援

全国花育活動推進協議会の事務局として業務運営に当たってきたが、令和3年度をもって事業終了・協議会は解散した。協議会解散後も、日本花普及センター独自の活動として、副読本・事例集の配布等、花育活動への支援は可能な限り行った。

ロ「花っていいよね。キャンペーン」の推進

「花のある豊かで潤いのある生活」の実現に向けた普及啓発活動として、平成18年度から取り組んでいる「花っていいよね。キャンペーン」については、引き続きその標語とシンボルマークの活用を花き関係団体等に広く呼びかけて、全国的な運動として推進した。



ハ 花き業界統一販売促進キャンペーンの推進

花き業界関係者の幅広い参加により、新たな花きの需要拡大対策として、くらしの中に花と緑を取り入れるため、職場での「フラワービズ」、家庭での「フラワーフライデー」などに取り組み始めるとともに、一般社団法人花の国日本協議会では、フラワーバレンタイン等の物日対策とともに、週末を花で彩る暮らし「ウィークエンドフラワー」を提案しており、当センターとしても、引き続き、これらの活動に協力した。

また、全国鉢物類振興プロジェクト協議会の活動として「いい夫婦の日」「フラワーバレンタイン」のタグ・ラベル活用、母の日ポスター作成・配布などの取組も進めた。



花と素敵な週末を。



ニ 鉢物類振興プロジェクトの推進

全国の鉢物類の生産者や花き卸売会社が主体となって、鉢物類の消費拡大などを進めるため、令和元年4月に全国鉢物類振興プロジェクト協議会が発足した。当センターは、その事務局として各種検討委員会の開催、鉢物類効用調査の実施、都市公園等との連携によるモデル花壇の整備等の推進を実施してきた。

さらに鉢物類の効用調査や消費拡大の取組を進めるため、令和6年度も、国の補助事業を活用し、引き続き、事務局として業務運営に当たった。なお、今後の協議会及び事務局の扱いを検討した。

- 4月12日 第1回運営会議
- 6月19日 協議会通常総会
- 7月22日 第1回実証事業検討委員会
- 8月01日 第1回鉢物類効用調査検討委員会
- 2月25日 第2回実証事業検討委員会
- 3月04日 第2回鉢物類効用調査検討委員会

<鉢物類効用調査>

◎図書館におけるネイチャーブレイクの鉢物類効用調査	全国の公立図書館等
◎地域包括支援センター（高齢者支援施設）における屋内緑化壁面栽培による鉢物類効用調査	関東の地域包括支援センター（千葉県厚生事業団ひかり隣保館）

＜フラワー&グリーンマルシェのモデル的開催、
図書館におけるネイチャーブレイクモニター調査等地区＞

茨城県：茨城県鉢物類品評会（ジョイフル 本田ニューポートひたちなか店で開催）	三重県：なばなの里 愛知県：豊橋市まちなか図書館
埼玉県：深谷グリーンパーク、 鴻巣市立鴻巣中央図書館	大阪府：泉大津池上曾根史跡公園、 南海本線松ノ浜駅前ロータリー、 泉大津市立図書館、堺市立図書館
東京都：世界らん展 2025（東京ドームシティ）、 柏市立図書館	大阪府：天王寺駅等、豊島公園、豊中市 立岡町図書館、豊中市立野畑図書館
東京都：駒沢オリンピック記念公園、 世田谷区立中央図書館	兵庫県：明石公園、加西フラワセンター
東京都：国営昭和記念公園、三鷹駅、 立川市立中央図書館、都立立川 国際中等教育学校附属図書館	広島県：平和大通りの花壇、広島市植物 園、ひろしまゲートパーク、 広島都市学園大学附属図書館
東京都：オーキッド & ボタニカルフェア 2024（サシ ヤインシティー：日本洋蘭生産協会）	福岡県：大濠公園、 福岡市立中央図書館
静岡県：清水マリンパーク、駿府城公 園、清水日本平運動公園、 静岡市立中央図書館	

鉢物類効用調査の成果：日本花普及センターのHPに掲載（PDF版）

日本花普及センターのHP⇒全国鉢物類振興プロジェクト協議会のホームページ（普及版）を開設しました <https://sites.google.com/view/hachipuro1>

ホ 後援・表彰等による支援

地方自治体や花き関係団体等が行う各種品評会やコンクール、展示会等に対する後援、協賛等を引き続き行った。

＜令和6年度 後援、賞状、協賛等＞

項 目	点 数
後 援	13
賞 状	12
協 賛	0
協 力	2

（注）解散までに当該行事が終了するものに限りに、後援等を行った。

令和6年度表彰事業等一覧表（後援・賞状・協賛等）

No.	事 項 名	申請内容	
1	第66回日本ばら切花品評会	後援	1
		賞状	1
2	第4回全国高校生花生けバトル岐阜大会	後援	1
3	第8回全国高校生花いけバトル全国大会	後援	1
		賞状	1
4	第8回全国高校生花生けバトル香川地区大会	後援	1
5	2024年度全国洋らん品評会	後援	1
6	第42回徳島県花き展示品評会		
		賞状	1
7	令和6年度大和路プチガーデニングコンテスト		
		賞状	1
8	第27回 FAJインドアプランツコンテスト	後援	1
		賞状	1
9	第41回岐阜県花き品評会		
		賞状	1
10	クリスマスローズの世界展2025	協力	1
11	第12回横浜イングリッシュガーデン ハンギングバスケット コンテスト	後援	1
		賞状	1
12	世界らん展2025 花と緑の祭典	協力	1
13	令和6年度沖縄国際洋蘭博覧会	後援	1
14	令和6年度長崎県花き品評会		
		賞状	1
15	令和6年度新潟県花きコンテスト		
		賞状	1
16	第54回鹿沼さつき祭り	後援	1
		賞状	1
17	フラワーウェーブ新潟2025	後援	1
18	東海地域鉢物品評会2025観葉植物の部	後援	1
		賞状	1
19	第28回 FAJインドアプランツコンテスト	後援	1
		賞状	1
20	第5回全国高校生花生けバトル全国選抜岐阜退会	後援	1

(2) 調査研究関係

イ 日本花き取引コード普及促進協議会への参加・協力

日本花き取引コード普及促進協議会の事務局が、令和4年度から一般社団法人日本花き卸売市場協会に移管されたので、協議会活動に参加・協力した。

7月19日 日本花き取引コード普及促進協議会総会

ロ ジャパンフラワーセレクション（新品種コンテスト）の実施

国内外の花きの新品種の中から、優れた品種を選んで生活者の花や緑のあるライフスタイルを質的に向上させること、新品種の開発・導入の水準を向上させること、花き産業の発展を図ることを目的として、平成18年度から実施されているジャパンフラワーセレクション(JFS)を支援するとともに、ジャパンフラワーセレクション実行協議会の事務局として業務運営に当たった。

具体的には、切花、鉢物及びガーデニングの3部門毎に審査会を行うとともに、JFSの年間入賞品種の中から、各部門毎にフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）や特別賞を決定して公表した。また、受賞品種のPRについては、関東東海花の展覧会等の全国的な普及イベントと連携して展示紹介した。なお、今後の協議会及び事務局の扱いを検討した。

7月19日 ジャパンフラワーセレクション実行協議会理事会
審査会を順次開催

<切花部門>

春審査：5月2日（横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024：パシフィコ横浜）

秋審査：10月14日（大田市場花き部）

<鉢物部門>

春審査：5月2日（横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024：パシフィコ横浜）

秋審査：11月19日（大田市場花き部）

<ガーデニング部門>千葉大学環境健康フィールド科学センター

審査会①7月02日

②8月20日

③10月8日

④11月18日

<中央審査委員会>

11月19日（大田市場花き部）

12月13日公表

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2024「最優秀賞」受賞品種



切花部門: カーネーション テルミ



鉢物部門: ブルーベリー ブッシュル・アンド・ベリー サファイアカスケード



鉢物部門: エラチオールベゴニア ブランレーヌ

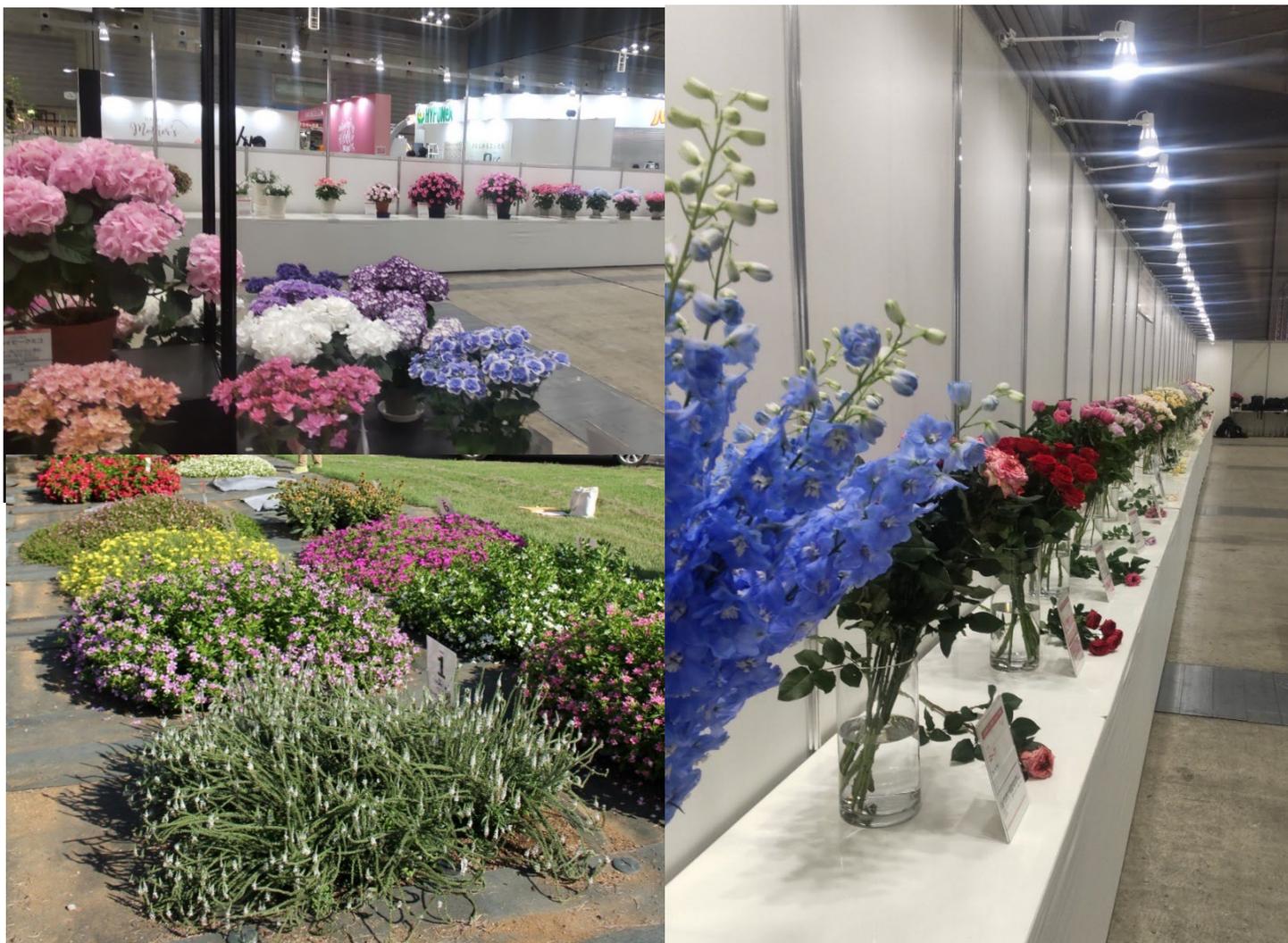


ガーデニング部門: ニチニチソウ サニープリンセス ブルー



ガーデニング部門: トレニア スーパートレニア カタリーナ ラムレーズン

＜審査会＞



＜関東東海花の展覧会で展示＞



ハ 花き技術・経営コンクールの公募・調査・表彰

今年度も、引き続き、花きの生産構造の改善に資するため、都道府県や花き関係団体に広く呼びかけて第34回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクールの公募を行い、12月に審査会を開催し、2月には受賞者の概要を取りまとめて公表した。なお、農林水産大臣賞の受賞者は、翌年度の農林水産祭天皇杯等候補として推薦される。

7月25日 公募通知（参加申し込み呼びかけ：都道府県、団体へ）

HPに実施要領・様式を掲載

7月31日～10月31日 出品募集期間

11月中旬～ 予備審査

12月6日 審査会

12月16日、26日 現地調査

2月4日 公表

<第34回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール受賞者一覧>

受賞区分	都道府県	受賞者名	生産品目
農林水産大臣賞	群馬県	佐藤 勲	苗物（パンジー・ビオラ、カリブラコア、ニチニチソウ）
農林水産大臣賞	福岡県	杉本 佑貴 杉本 かおり	鉢物（観葉植物）、切葉
農産局長賞	岩手県	新岩手農業協同組合 南部地域花卉生産部 会	切花（リンドウ、ユリ）
農産局長賞	愛知県	あいち海部農業協同 組合 早尾紅蓮組合	切花（ハス）
農産局長賞	長崎県	栗林 健一 栗林 亜紀子	切花（トルコギキョウ、ストック、アスター）
農産局長賞	沖縄県	上江洲 実	切花（キク）

ニ 全国花のまちづくりコンクールの公募・調査・表彰

今年度も、引き続き、花と緑によるゆとりある地域づくりを推進するため、当センターを含めた花き関係団体4団体で花のまちづくりコンクール推進協議会を組織して、第34回全国花のまちづくりコンクールを実施した。

7月30日	第1次審査委員会
8月	現地審査
9月10日	第2次審査委員会
9月30日	審査結果公表

部 門	
○花のまちづくり大賞 農林水産大臣賞	
団体部門	(愛知県田原市) 特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク
団体部門	(静岡県三島市) 三島市東大場花の会
○花のまちづくり大賞 国土交通大臣賞	
団体部門	(東京都豊島区) 南大塚都電沿線協議会
個人部門	(静岡県浜松市) 佐野 誉志照・恵美子
○花のまちづくり大賞 文部科学大臣賞	
学校部門	(茨城県五霞町) 五霞町立五霞中学校

ホ フラワーデータブックのデータ収集・編集（CDによる提供）

今年度も、引き続き、花き産業に関する基礎的なデータ集として「新訂フラワーデータブック」を取りまとめ、利用者がデータの加工しやすいCD形式で作成して賛助会員に無償配布した。また、民間企業、研究機関や個人等へも有料で配布する。

(3) 国際交流関係

イ 全国花き輸出拡大協議会への参加・協力

全国花き輸出拡大協議会の事務局が、令和4年度から一般社団法人日本植木協会に移管され、さらに、一般社団法人全国花き輸出拡大協議会となったので、協議会活動に参加・協力した。

6月11日	第1回理事会
6月27日	全国花き輸出拡大協議会総会

3. 役員会等に関する事項

令和6年度は、以下のとおり評議員会及び理事会等を開催ないし開催予定である。

(1) 第1回理事会

日時： 令和6年5月30日
場所： エッサム神田ホール1号館（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和5年度 事業報告及び決算について
令和6年度 事業計画及び収支予算の変更について
会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告について
日本花普及センターの事業・組織の「今後の方針（案）」について

(2) 定時評議員会

日時： 令和6年6月28日
場所： エッサム神田ホール1号館（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和5年度 事業報告及び決算について
令和6年度 事業計画及び収支予算の報告について
日本花普及センターの事業・組織の「今後の方針（案）」について
定款変更について

(3) 賛助会員総会

日時： 令和6年12月3日
場所： エッサム神田ホール1号館（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和6年度事業の活動状況報告及び賛助会員の意見聴取等

(4) 第2回理事会

日時： 令和7年3月26日
場所： 都内会議室（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和6年度 事業実施状況報告について
令和7年度 事業計画及び収支予算について
会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告について
解散・清算に向けての準備について

4. 正味財産増減の状況並びに財産の状況の推移

単位：千円

事業年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
経常収益	25,070	36,603	42,638	19,587
経常費用	55,204	63,496	68,051	39,812
経常増減額	△31,120	△38,008	△19,628	△20,224
一般正味財産増減額	△31,120	△58,733	△18,053	△14,479
資産合計	218,397	189,671	154,512	118,641
負債合計	14,939	44,946	27,840	6,448
正味財産	203,458	144,725	126,672	112,192

事業年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収益	21,405	21,705	18,647	10,295
経常費用	39,032	37,579	37,302	38,726
経常増減額	△17,627	△15,874	△18,654	△28,431
一般正味財産増減額	△17,627	△15,874	△18,654	△28,431
資産合計	100,346	83,399	65,765	37,741
負債合計	5,781	4,707	5,727	6,135
正味財産	94,565	78,691	60,037	31,606



Ⅲ 法人の課題

1. 日本花普及センターの解散・清算に向けた準備

令和5年度第1回理事会、令和5年度定時評議員会で承認いただいた「センターの今後について」に基づいて検討を行い、会計事務所・司法書士事務所の助言も踏まえて、日本花普及センターの事業・組織の「今後の方針」を取りまとめた。また、それに即して、解散・清算に向けての準備を進めている。なお、当センターの存続期間、「令和7年6月23日までとする」を、東京法務局に登録した。

2. 花きの振興に関する法律の制定とその普及に向けた取り組み

全国花き振興協議会の構成団体等の要請活動もあり、平成26年6月に議員立法により「花きの振興に関する法律」（平成26年法律第102号）が成立し、平成26年12月1日に施行された。更に、農林水産大臣が定める「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」が策定されるとともに、各都道府県では、「花き産業及び花きの文化の振興に関する計画」が策定された。当センターとしては、関係団体と連携してこれらの普及浸透に積極的に参加協力した。

一般財団法人日本花普及センター

令和6年度 計算書類

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,432,334	55,739,909	△ 29,307,575
未収金	8,085,736	7,413,784	671,952
未収消費税等	454,057	0	454,057
流動資産合計	34,972,127	63,153,693	△ 28,181,566
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	167,200	167,200	0
保証金	1,032,600	1,032,600	0
保険積立金	1,349,399	1,190,520	158,879
その他固定資産合計	2,769,783	2,610,904	158,879
固定資産合計	2,769,783	2,610,904	158,879
資産合計	37,741,910	65,764,597	△ 28,022,687
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	463,952	740,638	△ 276,686
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	0	177,100	△ 177,100
預り金	194,675	188,966	5,709
流動負債合計	728,627	1,176,704	△ 448,077
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,407,071	4,550,656	856,415
固定負債合計	5,407,071	4,550,656	856,415
負債合計	6,135,698	5,727,360	408,338
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	31,606,212	60,037,237	△ 28,431,025
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	31,606,212	60,037,237	△ 28,431,025
負債及び正味財産合計	37,741,910	65,764,597	△ 28,022,687

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	0	5,090,000	△ 5,090,000
賛助会員受取会費	0	5,090,000	△ 5,090,000
事業収益	8,085,736	6,877,232	1,208,504
ジャパンフラワー強化プロジェクト推進関係事業受託収益	6,435,736	5,077,232	1,358,504
事務局業務受託収益	1,650,000	1,800,000	△ 150,000
雑収入	2,209,585	6,680,263	△ 4,470,678
受取利息	33,272	2,700	30,572
雑収入	2,176,313	6,677,563	△ 4,501,250
経常収益計	10,295,321	18,647,495	△ 8,352,174
(2) 経常費用			
事業費	29,458,248	28,347,983	1,110,265
給料手当	11,392,612	11,071,312	321,300
賃金	4,274,592	3,962,392	312,200
退職給付費用	599,490	681,059	△ 81,569
福利厚生費	1,966,148	1,852,293	113,855
会議費	34,994	55,550	△ 20,556
旅費交通費	568,850	320,300	248,550
通信運搬費	853,207	641,908	211,299
消耗品費	648,169	565,268	82,901
印刷製本費	104,104	53,867	50,237
光熱水料費	211,459	198,930	12,529
賃借料	3,473,104	3,421,686	51,418
手数料	146,289	79,086	67,203
諸謝金	130,000	110,000	20,000
租税公課	73,585	252,939	△ 179,354
支払負担金	2,799,000	2,769,600	29,400
図書購読費	35,292	61,476	△ 26,184
発注費	1,586,040	1,427,947	158,093
減価償却費	0	333,395	△ 333,395
雑費	561,313	488,975	72,338

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	9,268,098	8,953,738	314,360
給料手当	4,882,548	4,744,848	137,700
賃金	1,831,968	1,698,168	133,800
退職給付費用	256,925	291,882	△ 34,957
福利厚生費	842,635	793,840	48,795
会議費	383,583	250,382	133,201
旅費交通費	413,229	355,011	58,218
通信運搬費	16,727	11,408	5,319
消耗品費	12,132	10,587	1,545
印刷製本費	0	88	△ 88
光熱水料費	4,315	4,060	255
賃借料	70,880	69,830	1,050
手数料	2,871	1,489	1,382
諸謝金	528,935	691,035	△ 162,100
租税公課	1,502	5,162	△ 3,660
支払負担金	12,000	12,000	0
減価償却費	0	6,805	△ 6,805
雑費	7,848	7,143	705
経常費用計	38,726,346	37,301,721	1,424,625
当期経常増減額	△ 28,431,025	△ 18,654,226	△ 9,776,799
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 28,431,025	△ 18,654,226	△ 9,776,799
一般正味財産期首残高	60,037,237	78,691,463	△ 18,654,226
一般正味財産期末残高	31,606,212	60,037,237	△ 28,431,025
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	31,606,212	60,037,237	△ 28,431,025

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・内容	金	額
(流動資産)			
現金預金	手元保管	40,346	
	普通預金		
	三井住友銀行	22,843,429	
	みずほ銀行	16,649	
	三菱UFJ銀行	10,791	
	ゆうちょ銀行	3,521,119	26,432,334
未収金	ジャパンフラワーセレクション実行協議会	1,650,000	
	全国鉢物類振興プロジェクト協議会	6,435,736	8,085,736
未収消費税等	消費税還付		454,057
流動資産合計			34,972,127
(固定資産)			
その他固定資産			
電話加入権	NTT 3回線		220,584
敷金	内田ビル倉庫保証金		167,200
保証金	山一ビル事務所保証金		1,032,600
保険積立金	ソニー生命 養老保険		1,349,399
固定資産合計			2,769,783
資産合計			37,741,910
(流動負債)			
未払金	賃金3月2人分	369,000	
	派遣会社	94,952	463,952
未払法人税等	法人都民税		70,000
預り金	職員健康・厚生年金保険料		194,675
流動負債合計			728,627
(固定負債)			
退職給付引当金	職員退職金		5,407,071
固定負債合計			5,407,071
負債合計			6,135,698
正味財産			31,606,212

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

令和6年6月28日に開催された定時評議員会において「この法人の存続期間は令和7年6月23日までとする」定款の変更が議決され、東京法務局に登録して解散・清算に向けた準備を進めております。

財務諸表は継続組織を前提として作成しており、継続組織の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映しておりません。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額から保険会社への拠出積立額を控除した金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	期末残高 (単位：円)
						役員 の兼務等	事業上 の関係				
公益法人の役員及びその近親者	ジャパンフラワーセレクション実行協議会	東京都中央区東日本橋3-6-17	0円	花の品種コンテスト事業	—	兼任 3人	事務局	事務局作業	1,650,000	未収金	1,650,000
公益法人の役員及びその近親者	全国鉢物類プロジェクト協議会	東京都中央区東日本橋3-6-17	0円	花き鉢物類振興事業	—	兼任 3人	事務局	事務局作業	6,435,736	未収金	6,435,736

一般財団法人日本花普及センターが事務局に位置づけられており、事務局業務に要した人件費等の実費相当額を受け入れている。

4. その他

(1) 退職給付に関する事項

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務	6,756,470 円
外部拠出積立額	△1,349,399 円
退職給付引当金	5,407,071 円

③ 退職給付費用に関する事項

勤務費用	856,415 円
退職給付費用	856,415 円

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算にあたっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

(2) リース取引に係る注記

貸借対照表日後 1 年以内のリース期間に係るもの	787,632 円
貸借対照表日後 1 年を超えるリース期間に係るもの	982,160 円
合計	<u>1,769,792 円</u>

附属明細書

1. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,550,656	856,415	0	0	5,407,071

監査報告書

令和7年5月20日

一般財団法人日本花普及センター
代表理事 小栗 邦夫 殿

監事 前田 安正



監事 東方 久男



私たちは、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たちは、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 継続組織の前提に関する重要な不確実性

継続組織の前提に関する注記に記載されているとおり、令和6年6月28日に開催された定時評議員会において「この法人の存続期間は令和7年6月23日までとする」定款の変更が議決され、東京法務局に登録して解散・清算に向けた準備を進めています。

財務諸表等は継続組織を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響は財務諸表等に反映されていない。

当該事項は、私たちの意見に影響を及ぼすものではない。

令和6年度決算・予算対比

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	令和6年度予算※1	令和6年度決算	備 考	
	法人会計※2	法人会計※2		
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	[1,000]	[0]		
特定資産受取利息	1,000	0	特定資産の位置づけがなくなったので雑収入に 有価証券	
特定資産受取利息	0	0		
② 受取会費	[0]	[0]		
賛助会員受取会費	0	0	令和6年度は賛助会費を請求しないこととした	
③ 事業収益	[6,000,000]	[8,085,736]		
ジャパンフラワー強化プロジェ クト推進関係業務受託収益	4,000,000	6,435,736	農林水産省の公募型補助事業で全国鉢物類振興プ ロジェクト協議会からの業務受託収入	
事務局業務受託収益	2,000,000	1,650,000	JFS協議会の事務局業務受託収入	
④ 雑収入	[7,601,000]	[2,209,585]		
受取利息	1,000	33,272	預金利息	
雑収入	7,600,000	2,176,313	フラワーデータブックの販売等 全国花き輸出拡大協議会担当者関係	
経常収益計	13,602,000	10,295,321	備 考	6予算(事業+管理) →6決算(事業+管理)
(2) 経常費用				
① 事業費	[33,023,000]	[29,458,248]		
給料手当	11,257,000	11,392,612		4202万 → 3873万
賃金	4,809,000	4,274,592		1592万 → 1628万
退職給付費用	623,000	599,490		680万 → 611万
福利厚生費	2,013,000	1,966,148		88万 → 86万
会議費	40,000	34,994		285万 → 281万
旅費交通費	250,000	568,850		29万 → 42万
通信運搬費	696,000	853,207		57万 → 98万
消耗品費	600,000	648,169		71万 → 87万
印刷製本費	60,000	104,104		61万 → 66万
光熱水料費	241,000	211,459		6万 → 10万
賃借料	3,420,000	3,473,104	家賃、電話機リース料等	25万 → 22万
手数料	70,000	146,289		349万 → 354万
諸謝金	120,000	130,000		7万 → 15万
租税公課	390,000	73,585	消費税等	66万 → 66万
支払負担金	5,800,000	2,799,000	ジャパンフラワーセレクション等	40万 → 8万
図書購読費	32,000	35,292		581万 → 281万
減価償却費	0	0		3万 → 3万
発注費	2,095,000	1,586,040	日本花き卸売市場協会関係など	0万 → 0万
雑費	507,000	561,313		210万 → 159万
				52万 → 57万

科 目	令和6年度予算※1	令和6年度決算	備 考
	法人会計※2	法人会計※2	
② 管理費	[8,994,000]	[9,268,098]	
給料手当	4,662,000	4,882,548	
賃金	1,991,000	1,831,968	
退職給付費用	259,000	256,925	
福利厚生費	833,000	842,635	
会議費	250,000	383,583	評議員会・理事会
旅費交通費	322,000	413,229	評議員・理事
通信運搬費	14,000	16,727	
消耗品費	12,000	12,132	
印刷製本費	2,000	0	
光熱水料費	5,000	4,315	
賃借料	70,000	70,880	家賃、電話機リース料等
手数料	3,000	2,871	
諸謝金	539,000	528,935	会計事務所等
租税公課	10,000	1,502	
支払負担金	12,000	12,000	
図書購読費	0	0	
減価償却費	0	0	
発注費	0	0	
雑費	10,000	7,848	
経常費用計	42,017,000	38,726,346	
当期経常増減額	△ 28,415,000	△ 28,431,025	
2 . 予備費	1,000,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 29,415,000	△ 28,431,025	
一般正味財産額期首残高	60,037,237	60,037,237	
一般正味財産額期末残高	30,622,237	31,606,212	
Ⅱ 正味財産期末残高	30,622,237	31,606,212	

※1 6年度予算は、令和6年5月の第1回理事会で変更承認された令和6年度予算である。

※2 公益目的事業が終了したので、全て法人会計である。

(参考)

単位：千円

事業年度	正味財産増減額	正味財産	備 考
平成 29 年度	△ 3 1, 1 2 0	2 0 3, 4 5 8	
平成 30 年度	△ 5 8, 7 3 3	1 4 4, 7 2 5	債務保証損失引当金等計上
令和元年度	△ 1 8, 0 5 3	1 2 6, 6 7 2	有価証券評価益有
令和 2 年度	△ 1 4, 4 7 9	1 1 2, 1 9 2	債務保証関係益有
令和 3 年度	△ 1 7, 6 2 7	9 4, 5 6 5	
令和 4 年度	△ 1 5, 8 7 4	7 8, 6 9 1	花育協議会から寄付
令和 5 年度	△ 1 8, 6 5 4	6 0, 0 3 7	
令和 6 年度	△ 2 8, 4 3 1	3 1, 6 0 6	